

第38回KEKコロキウム



研究をつたえるとは 科学コミュニケーター から見た

南極昭和基地

近年研究所では研究内容を伝える説明責任が問われており、そのため科学コミュニケーターの役割が注目されています。宇宙飛行士で日本科学未来館長の毛利衛氏が今年1月に南極昭和基地を訪れた際、私は同館の科学コミュニケーターとして同行しました。その時取材してきた南極の研究や研究者の様子をお話しすると共に、科学コミュニケーターが一般に伝える方法も紹介しますので一般公開やイベントなどの参考にさせていただけたらと思います。



講演者: 寺嶋 加奈子
(日本科学未来館
科学コミュニケーター)



日時: 平成19年11月14日(水) 13:30~15:00

場所: KEK3号館セミナーホール

<http://www.kek.jp/colloquium/No38.html>



大学共同利用機関法人 高エネルギー加速器研究機構